

寄せられた意見

No. 91

受付日	H18. 2. 2	年齢	48歳	居住 市町村名	名寄市
件名					

サンルダムの早期完成について一言お願いをいたします。

昨年新潟県を襲った大豪雨と大水害の恐ろしさは、大きな川の傍に住む私達にとって他人事ではなく、身近に起こり得る災害として忘れることが出来ません。また、今年の東北地方は温暖化の影響なのか大雪になりましたが、春の融雪期には再度洪水の危険に襲われることでしょう。

同様に、この名寄地方でも春の融雪による増水や夏から秋の大雨による水害の心配が尽きません。一昨年は名寄川で春の増水で河川敷で遊んでいた小学生が流され亡くなるという痛ましい事故が起きました。

こういった水害を緩和する方法として最近「遊水池案」が提案されています。しかし、名寄川に関しては堤防横がほとんど農地でそれを遊水池に使うのは無理ではないでしょうか。農家が何十年の歳月をかけて作ってきた「土」を洪水で台無しにされるのを、みすみす了解するでしょうか。洪水が運んでくるのは泥水だけではなく、木屑やごみや石でこれによってせっかくの土地が台無しになってしまうからです。

実現不可能な提案や議論でダム建設を先延ばしにされ、流域の住民の利益がながしろにされるのはいかなるものでしょうか。特に名寄は天塩川と名寄川の合流点で洪水の危険性の高い地域です。天塩川は上流に岩尾内ダムあり洪水調節が為されますが、名寄川については何の対策もされていません。

先述の新潟のように、温暖化による海水温上昇で大雨・大雪の可能性が大きくなってきている現在机上で実現不可能な話題を論ぜず、早急にサンルダムを完成していただき安心して暮らせる環境を実現していただきたくお願いします。

平成 18 年 2 月 2 日 名寄市在住 [REDACTED] (48 歳)

※ [REDACTED] 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています